

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 岡山市立 藤田 中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 701-0221
岡山市南区藤田400番地

E-mail : fujitac@city-okayama.ed.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 187名 女子 142名 合計 329名
 児童・生徒の年齢 12歳～ 15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1. 本校のESDの特徴

藤田地区は、19世紀末以来児島湖を干拓してできた地域である。将来に展望が持てる藤田地区をつくっていくためには、環境の保全と回復とともに、地域の特色を見直し、地域での世代を超えた交流が必要である。また、地域だけでなく、岡山、日本、世界など広い視野を持った生徒を育成したいと考えている。

(1) 地域に目を向けた生徒の育成のために

- ①地域の自然・歴史・文化の学習を通して環境や世代間の公平をめぐる問題の背景等を理解する。
- ②興陽高校の生徒を講師にして草花を育てる「花いっぱい運動」を地域住民と協力して実施する。
- ③ボランティア活動として地域の祭りの運営に携わり、生徒会活動の一環として藤田公民館主催の「親子ふれあい理科教室」の運営スタッフとして活動する。

(2) 広い視野を持った生徒の育成のために

- ①中学1年生が南支援学校と交流を行い、人権教育をすすめる。
- ②中学2年生で学ぶ広島平和研修と3年生で学ぶ長崎平和研修を通して、原爆の恐ろしさ、戦争の怖さ、平和の尊さを体感して、世界中の人たちとっしょに活動する。

2. ユネスコスクールとしての活動・全体計画

(1) 「職場体験」プロジェクト

つきたい力

・未来像を予測して計画を立てる力
・他者と協力する態度

2年生が3日間少人数グループに分かれて地域の職場に赴き、様々な仕事の体験を積む。

(2) 「花いっぱい運動」プロジェクト

つきたい力

・コミュニケーションを行う力
・他者と協力する態度

授業外の活動として学年を超えて有志による活動を行う。

5月に、藤田公民館の協力を得て、生徒会が主催する「花いっぱい運動」を展開する。

11月には、本校を舞台に3日間にわたって、興陽高校生徒、地域住民とっしょに地域を彩る花を植えたり交流活動をしたりする「花いっぱい運動」に取り組む。

(3) 地域社会や公民館主催の活動への主体的・共同的参画

つきたい力

・コミュニケーションを行う力
・責任を重んじる態度

- ① 授業外の活動として学年を超えて有志による活動を行う。公民館を会場に、生徒会主催の「親子ふれあい理科教室」を年数回実施し、スタッフの一員として参加する。
- ② 地域のお祭り（どんぶらこ収穫祭、藤田ふれあい祭りなど）の運営スタッフとして参加する。
- ③ 文化委員会が夏休みに地域の小学校を訪問して児童に絵本の読み聞かせを行う。
- ④ 2年生が、出身小学校へ行って、正門に立ち、朝のあいさつ運動に参加する。

(4) 人権教育プロジェクト

つきたい力

・コミュニケーションを行う力
・つながりを尊重する態度

1年の総合的な学習の時間に取り入れる。
1年生12月：南支援学校との交流を行う。

(5) 平和学習プロジェクト

つきたい力

・批判的に思考・判断する力
・つながりを尊重する態度

2年、3年の総合的な学習の時間に取り入れる。
2年生10月：原爆について学習しオープンスクールで発表する。
2年生11月：広島を訪れ、原爆の恐ろしさ、戦争の怖さを学ぶ。
3年生 5月：修学旅行で被災地長崎を訪れ、真の平和について考え国際理解を深める。
3年生 9月：文化祭で中学3年間に学んだことを集大成させて世界に訴える。

3. 特徴的な活動事例の紹介

新しく以下の活動が加わった。

- ・7月14日(月)に第一藤田小学校へ行き、都保育園の園児と児童(4年生)、生徒(一藤小卒業生有志)が協力して地域の清掃活動に取り組んだ。
- ・8月24日(日)に第一藤田小学校へ行き、出前講座として第一藤田小児童を対象に、藤田中生徒有志が講師としての理科工作に取り組んだ。
- ・12月17日(水)に第一藤田小学校へ行き、6年生を対象に非行防止の紙芝居を2年生文化委員と生徒会執行部が行った。

4. 本年度の成果と課題

○成果と課題

① 学校としての成長

第一藤田小学校とのつながりが以前に比べて、深まっている。それに対して第二藤田小学校、第三藤田小学校とは、中学校からの距離が遠いため、交通安全面での問題もあり、交流が広がっていない。

② 子どもたちの成長

子どもたちは、園児や児童との交流活動を楽しんでおり、よき先輩として自覚を高めることができている。これらの交流活動に参加する人材を増やしていくことと活動の質を高めていくことがこれからの課題である。また、3年生になったときの文化祭で、ESDの集大成を発表するところまで至っていないので、文化発表としての活動を充実させていきたい。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()